主要国・国際機関等のニュース記事一覧

注目記事	No.	公開日	機関名	キーワード	ニュースタイトル(原文)	ニュースポイント(短文)	内容	感染症種別	ニュース種別										リンク1	リンク2	リンク3	リンク4	(1)ワクチンの開発状況	(2)ワクチンや重点感染症に関するFAの戦略/方針	(3)ワクチン開発関連において新規技術の活用
											取組		資金提供												
									当該機関の戦略/方針	ワクチン開発進捗	当該機関	支援対象	重点感染症	その他疾患	外部から当該機関へ	イベント	組織設立・再編	感染症状況							
	1	2024/4/5	HERA	HERA Symposium、医療緊急事態	HERA Symposium: Exploring Grants and Actions for advancing laboratory and digital capacities for health emergency preparedness and response	EUのステークホルダーの緊急事態への対応能力を高めるためのHERAシンポジウム（2024年4月4日，5日）の開催報告	2024年4月4日，5日、EUのステークホルダーの緊急事態への対応能力を高めるためにブリュッセルでHERAシンポジウムは開催された。シンポジウムの議題について、医療緊急事態への備えと対応を推進する上で極めて重要なトピックが幅広く取り上げられ、医療緊急事態への備えと対応のための実験室およびデジタル能力を推進し、欧州の脅威検知能力と医療対策に関連する公衆衛生情報を強化することに焦点を当てられた。この2日間、医療機関から政府機関、研究機関、学術機関まで、さまざまな分野の専門家、政策立案者、利害関係者が一堂に会し、協力、知識の共有、将来の危機の中で公衆衛生を守るための革新的なソリューションの活用を強化した。	—			●					●				リンク						
	2	2024/4/5	HERA	HaDEA、入札募集	Apply now! EU4Health call for tenders for intelligence gathering on priority threats and medical countermeasures	EU4Healthプログラムにて優先すべき脅威と医療対策に関する情報収集を目的とした新しいフレームワーク契約の入札募集開始	欧州保健・デジタル政策庁(HaDEA)は、EU4Healthプログラムにてヨーロッパの保健分野における支援を目的とした新しいフレームワーク契約の入札が募集されている。これによって、HERAの情報収集と将来の備えが強化され、EUの保健分野における重要な取り組みが支援されることになる。	—			●									リンク						
	3	2024/4/9	WHO	薬剤耐性結核、C型肝炎	WHO announces forthcoming updates on co-administration of treatment for drug-resistant tuberculosis and hepatitis C	WHO、薬剤耐性結核とC型肝炎の治療の併用に関する今後のアップデートを発表	世界保健機関(WHO)は、HCVとMDR/RR-TBの併用治療について最新情報を発表。併用治療の利益が害を上回ることが示唆されており、治療成功率の向上や死亡率の減少につながる可能性もある。また、DAAsの普及によりHCV治療が革命化されたが、MDR/RR-TB患者のHCV管理には課題が残る。WHOは専門的な証拠を収集し、更新情報の根拠データを提供してくれた関係者に感謝している。	ウイルス性肝炎、結核			●									リンク						
	4	2024/4/9	MRC	long COVID-19、免疫調節薬	Long COVID leaves telltale traces in the blood	Nature Immunology誌にUKRI、NIHR支援のlong Covidに関する論文発表	イギリスで行われたCOVID-19患者の最大規模の研究により、Long Covidは長期的な炎症を引き起こすことが明らかとなった。また、本研究は、身体の免疫系を調節する既存の薬剤がlong COVIDの治療に役立つ可能性を示唆している。この研究は、Imperial College Londonによって率いられ、Nature Immunology誌に掲載された。	コロナウイルス感染症				●								リンク						
	5	2024/4/9	MRC	発見科学、一般市民、公共参加	MRC fund to improve public involvement in discovery science	非臨床研究への一般市民の関与を拡大するためのツールキットの開発を支援する研究にMRCが資金提供	非臨床研究は、一般市民、患者、介護者、地域社会を巻き込むのが難しいとされてきた分野である。この資金は、研究への一般市民の関与を十分にするために広く利用できるツールキットの開発を支援することを目的としている。また、このプログラムの使命は、生物医学、医療、ケアに焦点を当てた研究、政策、提供を推進するために、最適な研究手法が用いられていることを確実にすることである。	—			●									リンク						
	6	2024/4/11	GAVI	ブラジル保健省、予防接種、パートナーシップ	Brazilian Ministry of Health and Gavi reaffirm partnership to advance equitable immunisation globally	ブラジル保健省とGaviのワクチンの生産、革新、およびグローバルアクセスに関するパートナーシップの再確認	ブラジル保健省とGaviは、ワクチンの生産、革新、およびグローバルアクセスに関して協力するための覚書に署名した。この強化したパートナーシップは、ワクチンへの公正なアクセスを確保することにコミットメントを再確認し、また、覚書の一環として、世界保健と金融、気候変動、デジタル技術などの他の重要分野の統合を推進する予定である。ブラジルの保健省は、ワクチンの生産と公正なアクセスを進めることを最優先事項としている。	—	●		●									リンク					●	
	7	2024/4/15	MRC	COVID-19（新型コロナウイルス感染症）	Specific nasal cells protect against COVID-19 in children	MRCが出資している小児の新型コロナウイルス感染症を防ぐ特定のヒト鼻上皮細胞(NEC)に関する研究がNature Microbiology誌に論文掲載	Nature Microbiology誌に発表された研究によると、小児のヒト鼻上皮細胞(NEC)はSARS-CoV-2に素早く反応し、体内の抗ウイルス防御の第一線であるインターフェロンを増加させ、ウイルスの複製を抑制した。この初期の抗ウイルス作用は、年齢が上がるにつれて顕著ではなくなっていった。また、高齢者のNECは感染性ウイルス粒子をより多く産生するだけでなく、細胞の脱落や損傷が増加していることも発見した。これより、小児のNECにおける強力な抗ウイルス反応は、若年者の症状が一般的に軽い理由を説明できる可能性を示しており、研究チームは、今後の研究では、加齢が他のウイルス感染症に対する身体の反応にどのような影響を与えるかを検討すべきであると提案している。	コロナウイルス感染症				●								リンク						
★	8	2024/4/16	IVI	新規口内コレラワクチン	EuBiologics’ simplified OCV achieves WHO PQ - IVI	韓国のEuBiologicsとIVIの共同開発による新規口内コレラワクチン(OCV) Euvichol-SがWHO PQ - IVIを達成	韓国のEuBiologicsと国際ワクチン研究所(IVI)は、共同開発した新規口内コレラワクチン(OCV)，Euvichol-Sが世界保健機関(WHO)の事前認定(PQ)を取得したと発表した。Euvichol-Sは、既存のEuvichol-Plus®の組成と製法を改良し、収量を約40%向上させた新規OCVである。Euvichol-Sは、Nepalでの第3相比較臨床試験で効果が証明された。ワクチン開発は、Bill&Melinda Gates財団の資金援助を受けており、EuBiologicsによって製造・流通される予定である。	その他		●		●								リンク				●		
	9	2024/4/17	WHO	ICMRA-WHO合同ワークショップ、COVID-19ワクチン変異	Statement on the outcomes of the ICMRA-WHO joint workshop on COVID-19 vaccines strain change	2024年2月に開催されたICMRA-WHO共同開催のCOVID-19ワクチン変異に関するワークショップの報告書公開	2024年4月17日、2024年2月に開催された国際医薬品規制当局連合(ICMRA)と世界保健機関(WHO)が共同で開催したCOVID-19ワクチン変異に関するワークショップの報告書が、公表された。ICMRAは、WHOをオブザーバーとして含め、世界各地の約40の医薬品規制当局からなる国際的な執行レベルの連合体である。この非公式連合は、COVID-19パンデミックなどの共通の課題に共同で取り組むための戦略的な指針、改善されたコミュニケーションやアプローチを提供する。その使命は、共有の規制問題や課題に関して、国際的な医薬品当局の戦略的リーダーシップと協力を促進することにより、公衆衛生を守ることである。	コロナウイルス感染症			●					●				リンク						
	10	2024/4/17	HERA	パンデミック、屋内病原体管理、JRC、HERA	Technologies for indoor pathogen management in pandemics: insights from the JRC-HERA study	パンデミックにおける屋内病原体管理技術に関するHERAとJRCの共同研究について発表	HERAとジョイントリサーチセンター(JRC)は、屋内での病原体の伝播を抑制するための技術に関する共同研究を発表した。この研究では屋内の空気病原体の管理について焦点を当てており、特にCOVID-19のようなパンデミックの状況下での最も効果的なアプローチについて政策立案者や医療業界関係者に情報提供することを目的としている。研究では、現在および新興技術を評価しており、その長所と潜在的な課題を明らかにした。主な調査結果では、確立された ろ過システムと換気システムが、屋内の空気中の細菌を捕捉し、浄化する上でトップ・パフォーマーとして浮上した。	コロナウイルス感染症など			●									リンク						
★	11	2024/4/18	Gavi Unicef	コレラワクチン、承認	Gavi and UNICEF welcome approval of new oral cholera vaccine	GaviとUnicefが支援した新しい経口コレラワクチンEuvichol-S(EuBiologics)がWHOの事前承認取得	2024年4月18日に、Gavi、ワクチン・アライアンス、およびUNICEFは、新しい経口コレラワクチンEuvichol-S（EuBiologics）がWHOの事前承認を受け、世界中の国々で利用可能になったことをを発表した。この承認により、より速くより多く供給が可能であり、2024年に入手可能な口腔コレラワクチンの供給量を増えることとなる。これにより、2023年の3800万回と比べて、今年は約5000万回文の供給が予定されている。EuBiologicsは現在、唯一のコレラワクチン供給業者であり、他のメーカーも今後数年で製品を提供する予定である。	コレラ		●	●									リンク（Gavi）	リンク（Unicef）			●		

主要国・国際機関等のニュース記事一覧

注目記事	No.	公開日	機関名	キーワード	ニュースタイトル(原文)	ニュースポイント(短文)	内容	感染症種別	ニュース種別										リンク1	リンク2	リンク3	リンク4	(1) ワクチンの開発状況	(2) ワクチンや重点感染症に関するFAの戦略/方針	(3) ワクチン開発関連において新規技術の活用
									当該機関の戦略/方針	ワクチン開発進捗	取組		資金提供			イベント	組織設立・再編	感染症状況							
											当該機関	支援対象	重点感染症	その他疾患	外部から当該機関へ										
	12	2024/4/18	WHO	COVID-19、インフルエンザ、麻しん、MERS、SARS、結核	Leading health agencies outline updated terminology for pathogens that transmit through the air	WHO、主要保健機関(Africa CDC, CCDC:ECDC, CDC)による空気感染病原体の最新用語概説に関する報告書が公表	WHOは、感染症(COVID-19、インフルエンザ、麻疹、MERS、SARS、結核などの呼吸器感染症)の伝達経路に関する新しい用語を導入するため、公衆衛生機関や専門家との協議を行った結果の報告書を公表した。この報告書には、WHO, 専門家, 4つの主要な公衆衛生機関(Africa CDC, CCDC:ECDC, CDC)の間での用語の共通理解が示されている。この合意は、この問題について共同で前進するという公衆衛生機関の意思を示している。	コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、MERS、SARS、結核			●								リンク						
	13	2024/4/22	CEPI	パンデミック対策	Global Summit to bolster pandemic preparedness	2024年7月29日～30日にCEPI、ブラジル保健省、Fiocruz財団が共同開催するパンデミックへの備えを強化するグローバル・サミットがブラジル、リオデジャネイロで開催予定	2024年7月29日～30日にブラジル、リオデジャネイロで行われる予定のグローバルパンデミック準備サミットは、将来的なパンデミックに備えた世界を構築するための貴重な機会となる。CEPI、ブラジル保健省、Fiocruz財団が共同開催し、R&D専門家、政府関係者、市民社会代表、そして世界各地のグローバルヘルスや産業機関のリーダーが参加する。アジェンダは、公平なワクチン・医薬品・その他の医療技術へのアクセス、100日ミッションの実現、グローバルな疾病監視の強化が中心となっている。サミットのプログラムはパートナー機関と共同で設計され、ライブストリームで配信され、その成果と推奨事項は国際的なパンデミック対策の支援に活かされる。	—			●					●			リンク						
	14	2024/4/24	BMGF Gavi Unicef WHO	予防接種、乳幼児の死亡率低下	Global immunization efforts have saved at least 154 million lives over the past 50 years	14の疾病に対する予防接種が過去50年間に1億5,400万人以上の人命を保護というBMGF、Gavi、Unicef、WHOがファンドした研究論文がランセット誌に発表	ランセット誌に掲載される重要な研究により、過去50年間にわたる世界的な14の疾病(ジフテリア、インフルエンザ菌B型、B型肝炎、日本脳炎、麻疹、A型髄膜炎、百日咳、侵襲性肺炎球菌疾患、ポリオ、ロタウイルス、風疹、破傷風、結核、黄熱病)に対する予防接種の取り組みにより、約1億5400万人の命が救われたことが明らかとなった。そのほとんどは乳幼児で101万人が救われている。麻疹ワクチンが最も効果的な予防接種であり、60%の命を救っている。全体では、予防接種により、乳幼児の死亡率は40%、アフリカ地域では50%以上減少した。今後も予防接種は命を救うための重要な役割を果たし続けるだろう。	ジフテリア、インフルエンザ菌B型、ウイルス性肝炎、日本脳炎、麻疹、髄膜炎菌、百日咳、肺炎球菌、ポリオウイルス、ロタウイルス、風疹、破傷風、結核、黄熱病				●							リンク (BMGF)	リンク (Gavi)	リンク (Unicef)	リンク (WHO)			
★	15	2024/4/24	IVI	レギュラトリーサイエンス、人材育成	IVI, Korea Vaccine Center for Assisting Safety & Technology (K-VCAST) sign MOU to collaborate in regulatory science and training - IVI	IVIと韓国ワクチンセンター(K-VCAST)がレギュラトリーサイエンスと人材育成の協力のために基本合意書にサイン	IVIとK-VCASTは、ワクチンおよびバイオ製薬分野での専門家の育成、知識共有、規制当局への教育に協力するために基本合意書にサインした。IVIは1997年に設立され、COVID-19、チクングニア、ラサ熱などの新興感染症、コレラ、チフス、サルモネラなどの後進国で一般的な感染症に対するワクチンの研究開発と普及を担当している。	—	●		●								リンク					●	
	16	2024/4/26	NIAID	NIH、マラリア、モノクロナール抗体、治験	Experimental NIH Malaria Monoclonal Antibody Protective in Malian Children	NIHが開発したマラリアモノクローナル抗体がマリの小児のマラリア疾患に対して有効性証明	マリで行われたP2試験にて、NIH開発のマラリアモノクローナル抗体が小児のマラリア疾患に対して有効性を示した。この試験により、皮下注射による単回の抗体投与によるマラリアに対する高い防御効果が初めて証明された。この結果はThe New England Journal of Medicineに掲載された。また、研究者らは、乳幼児、重症貧血で入院中の小児、妊婦など、他のハイリスク集団に焦点を当て、実験的抗体の臨床開発を継続している。その他には、妊娠可能な女性を対象とした臨床試験を実施し、妊娠中の抗体の試験に備えている。	マラリア			●								リンク						
★	17	2024/4/26	NIAID	Mpox、用量節約	Lower Dose of Mpox Vaccine Is Safe and Generates Six-Week Antibody Response Equivalent to Standard Regimen	低用量MpoxワクチンのNIAID支援研究を欧州臨床微生物・感染症学会議にて発表	2024年4月27日に開催されたEuropean Society of Clinical Microbiology and Infectious Diseases Global Congressにて、用量を減らしたMVA-MNの接種は安全であり、標準レジメンと同等の抗体反応を引き起こしたことが発表された。この研究結果は、2022年の米国でのmpox流行時に用いられたワクチンの用量節約の有効性に寄与したことを示唆している。また、この研究はNIAIDが支援したものである。しかし、著者らは、mpoxに対する防御の相関関係が定義されていないため、これらの知見から用量温存レジメンの有効性を確実に予測することはできないと述べており、研究は継続されている。	Mpox		●		●							リンク					●	
	18	2024/4/26	WHO	COVID-19	Statement on the antigen composition of COVID-19 vaccines	COVID-19ワクチンの抗原組成に関するWHOの声明	WHOは、SARS-CoV-2の進化がCOVID-19ワクチンのパフォーマンスに与える影響を定期的に評価しており、2023年5月, 12月には、ワクチン抗原としてXBB.1.5などの一価XBB.1子孫系統の使用を推奨した。今回2024年4月では、現在、公開されているデータベースで報告されているSARS-CoV-2の循環型変異体は、ほぼすべてJN.1由来の変異体であり、ウイルスの進化はJN.1から続くと予想されるため、COVID-19ワクチンの将来的な処方は、JN.1およびその子孫系統に対する中和抗体反応を増強することを目指すべきであるとして、ワクチンにおける一価のJN.1系統(GenBank: PP298019, GISAID: EPI_ISL_18872762)抗原の使用を勧めている。	コロナウイルス感染症			●								リンク						
	19	2024/5/1	GAVI	資金援助、行動科学、予防接種	Global Impact, on behalf of the Advancing Health Online Initiative (AHO) and Gavi, the Vaccine Alliance, invest US$ 12 million through the VaxSocial Initiative to implement innovative social media interventions to build vaccine confidence	Gaviなどを代表して、Global Impactは投資を行い、ワクチンの信頼性を高めるための革新的なソーシャルメディア介入を実施	Global Impactは、VaxSocialイニシアチブから1200万ドルの資金を受ける7つの組織を選出したことを発表した。VaxSocialは、ソーシャルメディアと行動科学を活用し、定期的な予防接種に対する信頼を築き、地域横断的なアプローチで規模拡大と再現性を推進する国主導のプロジェクトを支援することを目指しており、7つの選出組織は、ソーシャルメディアを活用して、ワクチン接種に対する信頼を構築することを目指している。	—			●		●						リンク						
★	20	2024/5/6	BARDA	アクセラレーター・ネットワーク、MCM	BARDA Launches the Next Generation of the BARDA Accelerator Network to Source and Support Startups across the U.S. and Globally	BARDAが次世代のBARDA Accelerator Network (BAN)の最初の2つのハブ、診断医療機器ハブと治療薬・ワクチンハブを発表	BARDAは、次世代のBARDA Accelerator Network (BAN)の最初の2つのハブ、診断医療機器ハブと治療薬・ワクチンハブを発表した。それに続いて、今年後半にさらに3つのハブが発表される予定である。これらの5つのハブは、健康セキュリティイノベーションエコシステムの成長を促進するためのグローバルネットワークとして機能し、次世代の医療対策(MCM)の開発、評価、検証、商品化を可能にする商業化およびサポートを提供する。これらのMCMには、治療薬、ワクチン、診断医療機器、デジタルヘルスツール、および公衆衛生の準備と対応に焦点を当てたエンタープライズ技術が含まれる。	—			●								リンク					●	

主要国・国際機関等のニュース記事一覧

注目記事	No.	公開日	機関名	キーワード	ニュースタイトル(原文)	ニュースポイント(短文)	内容	感染症種別	ニュース種別										リンク1	リンク2	リンク3	リンク4	(1)ワクチンの開発状況	(2)ワクチンや重点感染症に関するFAの戦略/方針	(3)ワクチン開発関連において新規技術の活用
									当該機関の戦略/方針	ワクチン開発進捗	取組		資金提供			イベント	組織設立・再編	感染症状況							
											当該機関	支援対象	重点感染症	その他疾患	外部から当該機関へ										
★	21	2024/5/6	BMGF	パートナーシップ、イノベーション	Novo Nordisk Foundation, Wellcome, and the Gates Foundation Join Forces to Accelerate Global Health Equity and Impact	ノボ ノルディスク財団、ウェルカム財団、BMGFがグローバルヘルスのための重要な科学的研究と開発(R&D)を支援するための新しいパートナーシップを発表	ノボ・ノルディスク財団、ウェルカムトラスト、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団は、グローバルヘルスのための重要な科学的研究と開発(R&D)を支援するための新しいパートナーシップを発表した。このパートナーシップは、低・中所得国の人々にアクセス可能かつ手頃なソリューションを進めるための科学とイノベーションの支援に焦点を当てている。各組織が3年間で1億ドルずつ、合計3億ドルを提供し、気候変動の健康への影響、感染症と抗菌薬耐性(AMR)、栄養、免疫、疾病、発達成果の相互関係の理解を進める取り組みをサポートする。3つの組織の幅広い経験と独自の専門知識を結集することで、より進んだ成果が得られるだろう。	—			●							リンク					●	
	22	2024/5/7	NIH	long COVID-19	NIH to open long COVID clinical trials to study sleep disturbances, exercise intolerance, and post exertional malaise | National Institutes of Health (NIH)	NIH、睡眠障害, 運動耐性および負荷後の悪化を研究するためのlong COVID臨床試験を開始	NIHはCOVID-19感染後の長期症状に対する治療法を調査するための臨床試験を開始する。この症状には、睡眠障害、運動不耐性、負荷後の症状悪化(PEM)などが含まれる。試験は合計1,660人を対象にlong COVIDを患っている人々が報告している最も頻度が高く負担の大きい症状に対する治療法を調査する。また、実施施設は、多様で包括的な症例表象を支援するため、地理的位置、地域社会とのつながり、多様な研究参加者を登録した実績に基づいて選ぶ。	コロナウイルス感染症			●							リンク						
★	23	2024/5/8	IVI	COVID-19	International Vaccine Institute, Baylor College of Medicine, and Regional Center for Innovation in Vaccines and Biopharmaceuticals AIP exchange an MOU to advance global health research and capability - IVI	IVI、ベイラー医科大学および Regional Center for Innovation in Vaccines and Biopharmaceuticals(CRIVB) AIPは、グローバルヘルス研究と能力向上のためのMOUを締結	2024年5月8日、IVI、ベイラー医科大学、CRIVB AIPは、共同でバイオファーマ製薬の研究とトレーニングを通じて共通のグローバルヘルス目標を追求する新しい協力関係を発表した。基本合意書の締結により、3つの組織はパナマ及びラテンアメリカ全体でワクチン科学とバイオファーマ製薬研究開発業界の能力を強化することを目指している。	—	●									リンク					●	
★	24	2024/5/9	GHIT Fund	マラリア、顧みられない熱帯病(NTDs)	マラリアと顧みられない熱帯病の新薬開発に約16.4億円の投資, 塩野義、エーザイ、田辺三菱、長崎大学などへ助成	GHIT fundがマラリアと顧みられない熱帯病の新薬開発に約16.4億円の投資, 塩野義、エーザイ、田辺三菱、長崎大学などへ助成	GHIT Fundは、マラリアと顧みられない熱帯病の新薬開発プロジェクト4件に合計約16.4億円の投資を決定し、日本と海外のパートナーが共同研究を行っている。マラリアの治療薬開発と顧みられない熱帯病に対する投資が行われており、これまでにも様々な研究開発プロジェクトへの投資が行われている。	マラリア、NTDs					●					リンク						
★	25	2024/5/10	WHO	パンデミック協定	Governments agree to continue their steady progress on proposed pandemic agreement ahead of the World Health Assembly	WHO本部にて、各国政府は世界保健機関総会に先立ち提案されたパンデミック協定を進展させることに合意	2024年5月27日に開催される第77回世界保健総会に向けて、WHO本部で各国政府がパンデミック協定の進展および改善に合意した。WHO事務局長は、2年以上にわたる集中的な交渉の中で、加盟国が示したCOVID-19パンデミックによる恐怖の再現から世界を守るために世代を超えた協定を結ぶという揺るぎない決意に歓迎の意を表している。	—	●		●							リンク					●	
★	26	2024/5/14	BARDA	Project NextGen、DCT、Covid-19	BARDA announces first award through the Rapid Response Partnership Vehicle to Allucent to innovate COVID-19 vaccine clinical trials	BARDAはCOVID-19ワクチン臨床試験の革新のための Project NextGenプログラムの一環であるRapid Response Partnership Vehicleを通じてAllucent社に最初の賞を授与	BARDAはRapid Response Partnership Vehicleを通じて初めての賞を発表した。Allucent社には2,550万ドルの賞金が支払われ、分散型臨床試験(DCT)ソリューションの開発と、より大規模で多様な人口からのワクチンの保護効果(CoP)データ収集が可能になる。この取り組みは、BARDAとアレルギー・感染症研究所(NIAID)がリードする50億ドルのProject NextGenプログラムの一環として資金提供されている。このプログラムは、革新的なCOVID-19ワクチン、治療法、エンエーラーの次世代の開発を加速・効率化することを目的としている。DCTを使用して臨床試験への参加を促進し、リスクのある人口や希少疾病を抱える人々にもアクセスしやすくすることを目指している。この研究では、ワクチンのCoPを評価するための抗体データを収集し、自宅での血液採取方法も比較する。	コロナウイルス感染症		●		●							リンク						●
★	27	2024/5/14	IVI	SARS、MERS	Scientists to test if COVID-19 variant vaccine protects against other coronaviruses - IVI	IVI、COVID-19ワクチンの SARS, MERSへの効果に関する研究に対してCEPIから追加資金受領	IVIの科学者たちは、CEPIなどの支援によって初期評価が行われたメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチン候補の改良を行い、SARS, MERSといったコロナウイルスに対してワクチンの効果を調査するために、CEPIから追加の研究資金を受け取ることになった。このワクチン候補は、既にOmicron、Delta、Alpha変異株に対して試験されている。今回の研究では、このワクチン候補を改良して、COVID-19に関連するより広い範囲のウイルスにも効果的に保護できるかどうかを検証することを目指す。	コロナウイルス感染症、MERS、SARS		●	●				●				リンク				●		
	28	2024/5/16	UKRI	製造、Hub	Hubs launched to create a sustainable future for manufacturing	UKRI、製造業の持続可能な未来を創造するHub発足	新しいHubの主な目標は、製造プロセスの環境持続可能性を改善することである。持続可能な製造は、効率向上や廃棄物、排出物、汚染の削減、生産コストの低下を通じて経済を強化できる。5つの新しいハブは英国の4つの国のうち3つの大学が主導し、各ハブが1100万ポンドを受け取るようにEPSRCによって支援されている。これらのハブは、迅速な産業効果を達成するために、共同投資、専門知識、施設へのアクセスを活用している。	—			●							リンク						
	29	2024/5/17	HERA	地域社会、入札募集	Agenda and registration - EUHPP Live Webinar: EU4Health 2024 AWP: Info session - Call for proposals for HERA action grants (29 May 2024)	EU4Healthプログラム(EU4H)HERA action grantsに関する情報提供のライブウェビナーの開催案内(2024年5月29日開催予定)	このウェビナーは、HERAおよびHaDEAにより共同で開催され、EU4Healthプログラム(EU4H)2024年年次作業プログラムに基づく感染症危機管理分野におけるEUアクション助成金の提案募集に関連する政策の背景や目的などの情報が提供される。	—			●					●			リンク						
	30	2024/5/22	HERA	Communication on the European Health Union、HERA	European Health Union: Stronger and better prepared for the future	EU、過去4年間のEUのヘルスポリシーの成果についてを記した「Communication on the European Health Union」を採択	2024年5月22日、ECは、EUおよび世界の市民のために過去4年間のEUのヘルスポリシーの成果についてを記した「Communication on the European Health Union」を承認した。過去4年間のEUの特筆すべき成果は、EUワクチン戦略であるが、他にも、EUがん計画、European Health Data Space(EHDS)、HERA創設がその成果に含まれる。	—	●										リンク						
★	31	2024/5/22	MRC	トランスレーショナル臨床研究、パートナーシップ、育成	Fostering translational clinical research via industry partnership	MRCによる産業パートナーシップを通じたトランスレーショナル臨床研究の育成	イギリスでの学術臨床医の数が減少すると予測されている中、MRCはAstraZenecaとの産業連携を強化し、医薬品の研究開発に関わる経験を提供している。このパートナーシップはスキルや知識の獲得を通じて、将来の臨床試験や研究に貢献し、新薬の開発をサポートするものである。	—	●					●					リンク					●	
	32	2024/5/23	MRC	資金増額、ケンブリッジ大学医学研究部門	Funding boost for medical research units at University of Cambridge	MRCによるケンブリッジ大学の医学研究部門への資金援助	ケンブリッジ大学を拠点とする2つの医学研究部門(The MRC Biostatistics Unit (BSU) and the Metabolic Diseases Unit (MDU))は、医学研究評議会から合計3000万ポンドの資金を受け取ることが決定された。これにより、両部門の科学者たちは、次の5年間の研究計画を支援し、2029年3月までの研究を行うことができる。	—						●					リンク						

注目記事星取ルール
ワクチンの開発状況
ワクチンや重点感染症に関するFAの戦略/方針
ワクチン開発関連において新規技術の活用